

情報の科学 3学期 第1回授業スライド

千葉県立八千代東高等学校
情報科 谷川 佳隆

問題解決の手順

教科書P80～P83

スライド構成

- 問
- 意味調べ
- まとめ

問

問

- 問題を解決するためにはどんなことが必要
でしょうか？

意味調べ

次の言葉の意味は

PDCA	
OODA	

意味

PDCA	PDCAサイクルは、生産技術における品質管理などの継続的改善手法。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。
OODA	観察（Observe）－ 情勢への適応（Orient）－ 意思決定（Decide）－ 行動（Act）によって、健全な意思決定を実現するというもの

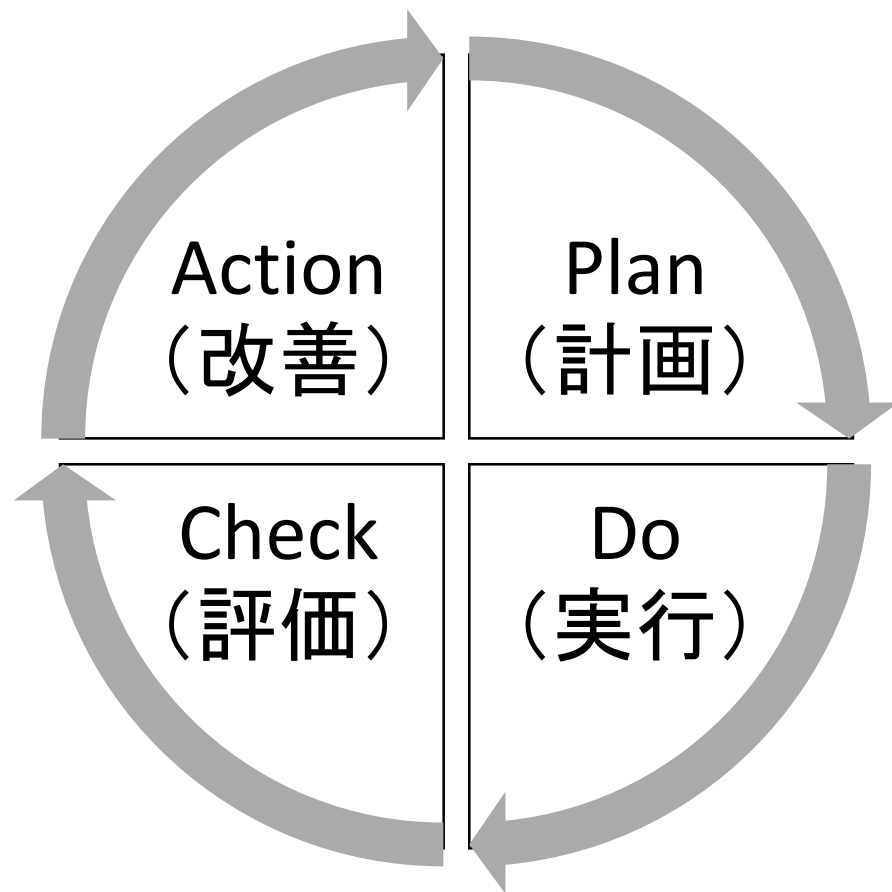
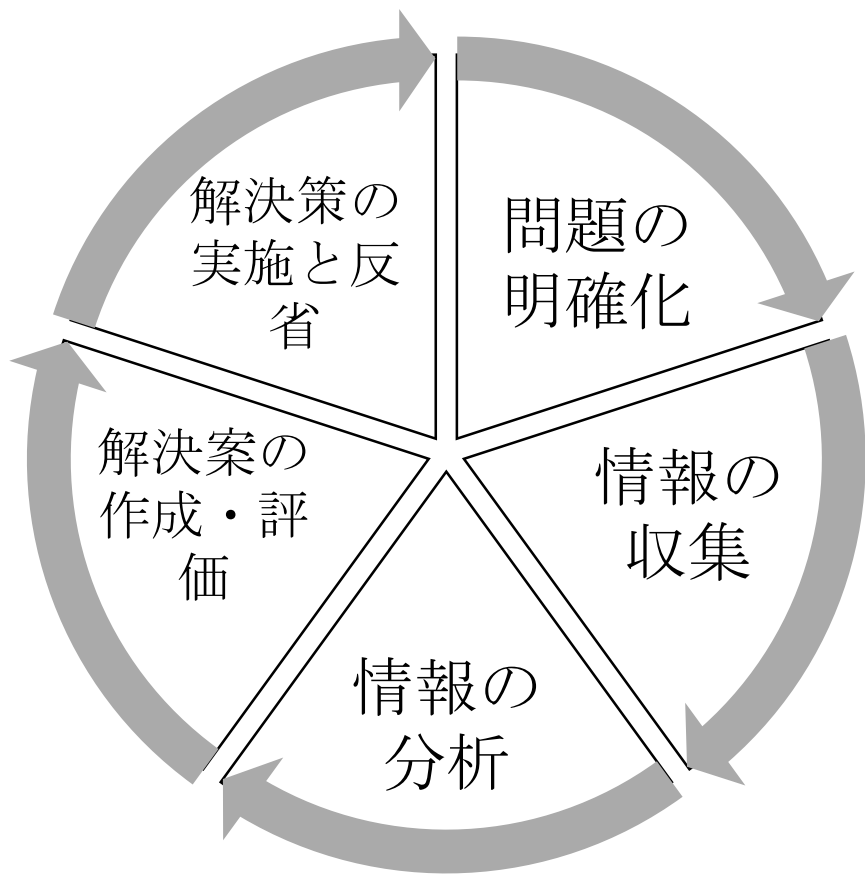
まとめ

問題解決の手順

問題とは、(理想)と(現実)とのギャップである。その差を解消するために解決策を作成し、実行することを問題解決という。問題解決の方法は、一定の手順に沿って行う場合が多い。

問題解決の手順において、(問題の明確化)がとても大切になる。また、問題解決をした後の(ふりかえり)も次へのステップに重要になる。

問題解決の手順とPDCAサイクル



ブレインストーミング



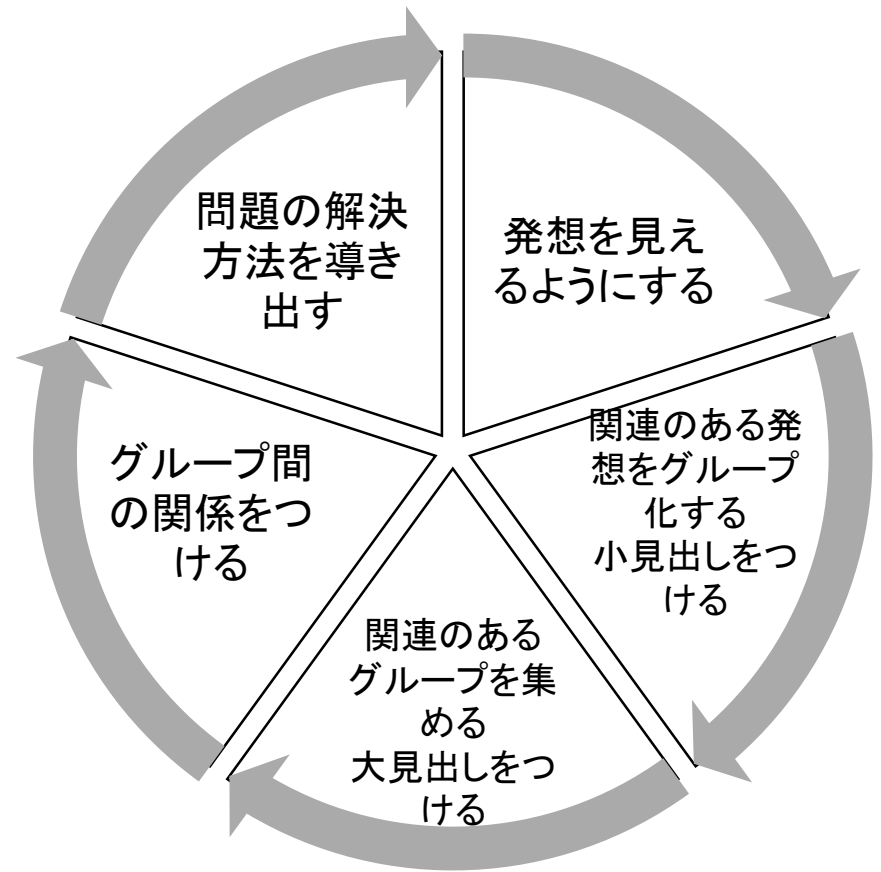
ブレインストーミングとは、
(グループ) で自由に
アイデアを出し合い、互いの異なる発
想を利用し連想を発展させることで、新
しい(アイデア)を生み出す(集団思
考)法・(集団発想)法である。

ブレインストーミングの4原則

- 「批判をしない」:他人の意見を批判してはいけない。批判があると良いアイデアが出にくくなる。
- 「自由奔放」:こんなことを言ったら笑われはしないか、などと考えず、思いついた考えをどんどん言う。「上品な」ジョーク歓迎。
- 「質より量」:できるだけ多くのアイデアを出せ。
- 「連想と結合」:他人の意見を聞いてそれに触発され、連想を働かせ、あるいは他人の意見に自分のアイデアを加えて新しい意見として述べるというのが一つやり方。

KJ法

KJ法とは、ブレインストーミングなどによって得られた発想を（整序）し、（問題解決）に結びつけていくための方法である。



参考サイト

- ブレーンストーミングとKJ法

<http://www.ritsumei.ac.jp/~yamai/kj.htm>